

会員の要望に応じて サークル発足を積極的にサポート

公益社団法人
戸田市シルバー人材センター
(埼玉県)

戸田市SCでは、平成24年に初めてのサークル「シルバー・パソコン同好会」ができたことを皮切りに、次々と特色のあるサークルが発足。健康麻雀やパン作り、ブック&ムービーなど、現在18のサークルがあり、会員の生きがいづくりと人とのつながりを支えている。近年ではサークル活動が入会の動機となるケースも多く、会員獲得や就業拡大のきっかけの一つにもなっている。

センターの概況

戸田市SCは、平成十五年に社団法人として設立し、平成二十四年に公益社団法人に移行した。

令和二年度の契約金額は約三億千四百七十九万円(労働者派遣事業を含む)。新型コロナウイルス感染症拡大の影響などもあり、請負・委任の契約金額は前年度比で一

三・二%減少したものの、労働者派遣事業が三〇・四%増加するな

ど伸びをみせている。会員数は八

百二十六人で、前年度より七十二

人増加している。

関東圏屈指のサークル数

戸田市SCでは、平成二十四年

に初めてのサークルとして「シル

バー・パソコン同好会」が発足。

以来、次々と特色のあるサークル

が誕生してきた。ゴルフや卓球、

菜園などのほか、趣味性の高い写

真、囲碁・将棋、星空鑑賞まで多

彩。現在のサークル数は十八と、

関東圏のセンターの中でも屈指の

数である(表)。

白井義則主幹は「会員に提案し

ているのは、就業活動、サークル

活動、ボランティア活動」という

三つの柱です。中でも、サークル

は、生きがいや人とのつながりを

一番感じられる目玉になるべきも

のです。だからこそ、会員からの

要望があれば、新サークルの発足

を積極的にサポートしています」

と話す。

令和二年度は、コロナ禍の影響

で、多くのサークル活動が一時休

止に追い込まれた。しかし、昨今

は、マスク着用や消毒、換気など

の感染防止策を徹底し、ほとんど

が再開している。

就業に発展した 健康麻雀「雀健碰」

健康麻雀「雀健碰」は、平成二

十九年に都利利夫さん(サークル

代表)によって発足した。メンバ

ーは現在三十一人。活動は月二回

(各四時間/会費:月百円)、セン

ターの会議室で行っている。

健康麻雀とは「飲まない・賭け

ない・吸わない」を基本に、麻雀

を純粹に楽しむ活動を行っている。

発足時からのメンバーである後

藤文子さんは、「頭を使うし、手も

動かすので認知症予防に最適です」

と答える。

石丸利子さんは「脳の老化が防

げること、麻雀そのものが楽し

い」と、魅力をアピール。「メンバ

ーは同世代なので話が合うし、ち

よつとした話題でも得られるもの

は多い」と、最近ではサークルで

の交流自体を楽しんでいる。

後藤さん、石丸さんの活動は、

就業にも結び付いている。

それは、近隣のデイサービスか

ら、「利用者が打つ麻雀の相手役と

して就業してもらえないか」とい

う依頼があったこと。これを受け、

パン作りサークルで 得るやりがい

パン作りサークル「アンパンマン」は、平成三十年に八鍬勝さん(サークル代表)によって発足。メンバーは二十一人。活動は月一回(四時間/会費:一回五百円)、近隣の福祉センターの料理室(料理教室)で開催している。

発足のきっかけは、倉庫作業の

就業時の自己紹介で、八鍬さんが

「製パンメーカーに長年勤めてい

た経験を生かし、パン作りを教え

てみたい」と話したこと。これを

受けて、サークルの立ち上げをセ

ンターがサポートした。

サークルでは、八鍬さん作成の

レシピを基に、粉の配合から手作

表 戸田市SCのサークル一覧

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ①シルバー・パソコン同好会 | ⑩ワイワイ菜園サークル |
| ②ゴルフサークル「渡しの会」 | ⑪健康麻雀「雀健碰(じゃんけんぽん)」 |
| ③シルバー写真同好会 | ⑫テニスサークルかるがも |
| ④シルバー・野山を歩こう同好会 | ⑬シルバー卓球クラブ |
| ⑤シルバー女性のつどい | ⑭パン作りサークル「アンパンマン」 |
| ⑥シルバーグラウンド・ゴルフ同好会 | ⑮シルバーボウリングサークル |
| ⑦英語に親しむ会～中学英語をもう一度～ | ⑯囲碁・将棋の会 |
| ⑧シルバー歌おう会 | ⑰パークゴルフサークル「さくらそう」 |
| ⑨ブック&ムービーサークル | ⑱星空の会 |



健康麻雀「雀健碰」(写真上)は、「飲まない・賭けない・吸わない」を基本に、麻雀を純粹に楽しむ活動を月2回行っている。マスクとフェースシールドを着用して、感染防止策も万全

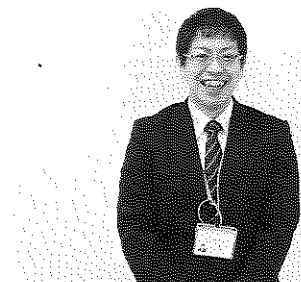
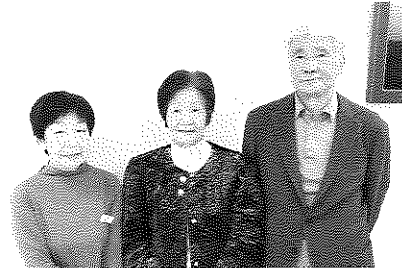


健康麻雀「雀健碰」のメンバー・後藤文子さん(左)と石丸利子さん(右)



「ブック&ムービーサークル」では、会員同士が本の情報交換や感想、映画の鑑賞会を月1回行っている。写真上はムービーの回。プロジェクターの映像を壁に映し出して映画を鑑賞している

写真右から、神保健一副理事長、「ブック&ムービーサークル」代表を務める森脇郊美さん、メンバーの児玉廣子さん



「サークル活動が、会員の前向きさや意欲を引き出すのに、大きな役割を果たしている」と語る白井義則主幹

戸田市S.Cのサークル活動は、会員の前向きさや意欲を引き出すのに、大きな役割を果たしているようだ。

白井主幹は、今後、このようなサークル活動の効果を内外に発信することも重視している。

「サークル活動だけではないという目的で、センターへ入会してもいいと思います。そうしたことで、

むことが、刺激になっています。メンバー同士の井戸端会議の中にも有益な情報がたくさん詰まっています、毎回、発見があります」と、活動の意義を話す。

サークルがきっかけでセンター

での活動が広がっていくメンバーも多い。森脇さんや児玉さんはここでのお出合いからほかのメンバーに誘われ、児童見守りのボランティア活動に参加するようになった。

「サークル、仕事、ボランティア

事業運営状況

(平成28年度～令和2年度)

年度	会員数			租入会率	就業実人員 (延人員)	就業率	受注件数	契約金額 千円	公民比
	男	女	計						
平成28	394	209	603	2.2	514 (71,078)	85.2	1,835	251,801	11.9/88.1
29	408	222	630	2.2	542 (79,950)	86.0	1,842	282,489	9.3/90.7
30	444	251	695	2.4	606 (83,036)	87.2	1,979	309,403	7.3/92.7
令和元	478	276	754	2.6	639 (89,089)	84.7	1,922	331,929	6.1/93.9
2	507	319	826	2.8	651 (85,083)	78.8	1,769	314,794	9.3/90.7

※受注件数、就業実人員、契約金額は請負・委任と労働者派遣事業を合計した数値
 ※就業実人員は平成29年度まで請負・委任、平成30年度以降は請負・委任と労働者派遣事業が対象
 ※就業実人員は令和2年度から労働者派遣事業の教育訓練受講を含む

センターをもっと楽しんで活用してもらえれば幸いです。そしてそのような会員が増えれば、センターの雰囲気が一層明るくなり、今後の会員拡大の土台にもなると考えています」と自信をみせた。

(山辺健史)

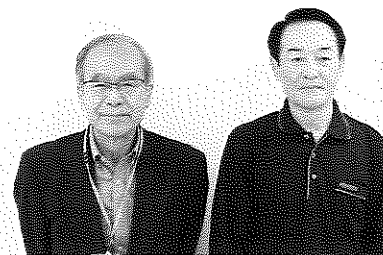
りでパンを焼き上げる。今までバターロールや食パン、ピザパンなど多くのパンを作ってきた。完成品は各自で持ち帰り、その日の成果を家庭で楽しめるのも醍醐味だ。しかし、「発足当初は、うまくいかないことも多かった」と八鍬さん。生地をこねるのに時間がかかり、終了までに焼けるのかと肝を冷やしたことも度々だったという。なにしろ、会場となる料理室にあるのは、オーブンとボウルのみ。だからこそ、八鍬さんのプロの段取りと工夫がものをいう。

「パンの発酵温度はその日の天候や気温に左右されるので、やがんで蒸気を出しておいて室温を調整するなど、かなり神経を使っているやっています」と、留意点ややりがい話す。

サークルメンバーでもある事務局職員の石塚久志さんは、「パン作りが楽しく、完成したときの達成感ほひとしおです」と語り、活動の充実ぶりがうかがえた。



パン作りサークル「アンパンマン」(写真上)は、製パンメーカーに勤めていた八鍬勝さんを中心に、月1回実施。完成したパンは、各自持ち帰るので、家族に成果を見せることもできる



パン作りサークル「アンパンマン」の代表を務める八鍬さん(右)と、メンバーで事務局職員の石塚久志さん(左)

「ブック&ムービーサークル」で活動に広がり

「ブック&ムービーサークル」は、本好きだった森脇郊美さん(サークル代表)の要望により、平成

二十九年に発足。メンバーは現在十三人で、活動は月一回(二時間/会費・年千円)、センターの会議室で実施している。

基本的な活動内容は、「ブック」では本を、「ムービー」では映画を、

会員同士で分かち合うというもの。ブックとムービーは交互に開催し、ブックでは順番に十分ほど本の感想を発表し合う。ムービーでは、会員のリクエスト作品をプロジェクトで鑑賞している。

森脇さんは「本や映画を通して自分の感想を話すのが趣旨ですが、途中から趣味の話や個人的な思い出話などに脱線することも多々あります。それでもいいので、同世代で和気あいあいと話すが目的です」と説明する。

本好きの児玉廣子さんは、「本選びではどうしても自分の趣味に偏ってしまいがちですが、ほかの人のお勧めを聞くと視野が広がります。ぜひ読んでみたいと思えます。ムービーでは毎回泣いたり笑ったりできますし、なによりこうしてさまざまな仲間と出会えたことがとてもうれしい」と話す。

サークルメンバーでもある、神保健一副理事長は、「自分の感想をどのように伝えるべきかと思悩